

登録コード	E0000901	開講年度	2026				
授業科目	コンピュータ利用教育 B				担当教員	八木 雄一郎	
英文授業名	Educational Computing (Japanese Language)				副担当	藤原 崇雅	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・4時限	対象学生	2年生
講義室	教育学びセンター 201		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				・ICT教育の推進と発展に必要な専門的知識・技能を身につけることができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				・コンピュータを適切に利用しながら、さまざまな情報を集めたり整理・統合したり、分析・活用をしたりすることができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	演習を中心に以下の能力獲得を目指す。 A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用することができる。 B 大型モニタ・電子黒板・書画カメラなどICTを活用して指導することができる。 C 児童・生徒がICTを活用した学習を指導することができる。 D 情報モラルなどを指導することができる。 E 国語科教育の実践場面を想定したコンピュータ利用の演習活動を行い、コンピュータを利用した国語科教育の実践的基礎能力を獲得する。						
(5)授業計画	第1回(4/13) ガイダンス(センター機器の使用法等: オンデマンド・学びセンター担当) 第2回(4/20) 国語科教師のためのICT活用術(Google Workspace入門)(藤原崇雅教員) 第3回(4/27) 国語科教師のためのICT活用術(Google Workspace入門)(藤原崇雅教員) 第4回(5/1(金)) 生成AIの基礎と対話型AIの活用(オンデマンド・学びセンター担当) 第5回(5/11) 自分専用AIの作成と業務効率化(オンデマンド・学びセンター担当) 第6回(5/18) 国語科教師のためのICT活用術(Google Workspace入門)(藤原崇雅教員) 第7回(5/25) 信頼できる情報の分析と論理構成(オンデマンド・学びセンター担当) 第8回(6/8) マルチモーダル生成と創造的アウトプット(オンデマンド・学びセンター担当) 第9回(6/15) プログラミング(Scratch)体験(八木雄一郎教員) 第10回(6/22) プログラミング(Scratch)体験(八木雄一郎教員) 第11回(6/29) プログラミング(Scratch)体験(八木雄一郎教員) 第12回(7/6) ICTを活用した小学校国語科模擬授業体験(八木雄一郎教員) 第13回(7/13) ICTを活用した小学校国語科模擬授業体験(八木雄一郎教員) 第14回(7/27) ICTを活用した小学校国語科模擬授業体験(八木雄一郎教員)、授業アンケート						
(6)成績評価の方法	演習への取り組みによって以下のように行う。 第1,4,5,7,8回: 30点 第2,3,6回: 20点 第9~14回: 50点 合計100点 【第2,3,6回】 1. 授業の達成目標1の「ICT教育の推進と発展に必要な専門的知識・技能を身につけることができる。」に関する達成度を測るため、毎回の授業で実施する授業の小テストおよび振り返り: 9点 2. 授業の達成目標2の「コンピュータを適切に利用しながら、さまざまな情報を集めたり整理・統合したり、分析・活用をしたりすることができる。」に関する内容理解を測るための課題: 11点 合計20点 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	秀: 授業に精勤し、内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題演習に取り組み、高度な活動成果を示している。 優: 授業にほぼ精勤し、内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習に取り組み、良好な活動成果を示している。 良: 授業におおむね精勤し、内容をだいたい理解し、講義内容をほぼ理解するとともに、与えられた課題演習に誠実に取り組み、円満な活動成果を示している。 可: 授業に全体の3分の2以上出席し、内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可: 授業出席以外は可とすべき内容を満たさない。						
(8)事前事後学習の内容	E-ALPSまたはGoogleclassroom上に課題及び制作物の提出場所を示すので、それをもとに事前事後学習を行う。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	・第2回授業までにGoogle Chromeをダウンロードし、Classroomに信大のアカウントでログインしておくこと。 ・活動の質・量ともに多いので、気合いを入れて臨んでほしい。						

(9)履修上の注意	・ 毎回，原則として課題が示される。 ・ 各ステップは積み重ねが大切なので欠席しないこと。 ・ 講義内容・順序等の詳細は，初回授業時に通知する。 オンデマンドと対面を併用する。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	随時対応する。連絡先は初回授業時に通知する。
【教科書】	指定しない。
【参考文献】	石丸憲一編『Chromebookでつくる小学校国語の授業』明治図書、2021 石丸憲一編『Chromebookでつくる中学校国語の授業』明治図書、2022 図書館や資料室（国語）に配架されているので、積極的に参照すること。